



The Tripartite Environment Ministers Meeting
Among China, Japan, and Korea



中華人民共和國生態環境部



日本国環境省



大韓民國環境部

出版

日中韓三国協力事務局

共同出版

中国・ASEAN環境協力センター

協力

中華人民共和国生態環境部

日本国環境省

大韓民国環境部

発行

2018年6月

本書の内容について

全てのコンテンツはTEMMEのウェブサイト、中華人民共和国生態環境部、日本国環境省、大韓民国環境部、中国・ASEAN環境協力センター、そして国際連合環境計画(UNEP)より入手可能な公式文書および情報に基づいています。

目次

TEMMEについて	4
TEMMEの歩み	6
環境協力に係る日中韓三カ国共同行動計画	11
- 大気環境改善	12
- 黄砂	13
- 環境教育、人々の意識向上、企業の社会的責任	14
- 生物多様性	15
- 化学物質管理	16
- 資源循環利用/3R/電気電子廃棄物(E-waste)の管理	17
- グリーン経済への移行	18
- 気候変動対応	19
- 水及び海洋環境の保全	20
- 地方環境管理	21
環境協力のこれから	22
付録	24
- TEMME会合一覧	24
- 「環境協力に係る日中韓三カ国共同行動計画」の優先分野	26



日中韓の環境協力および日中韓三カ国 環境大臣会合（TEM）について



北東アジア地域は過去数十年で大きな経済成長を果たしました。それと同時に、環境汚染や生態系の悪化などの問題も表面化してきています。これらの問題に取り組み、持続可能な北東アジアを築いていくため、中華人民共和国(中国)、日本、大韓民国(韓国)が協力し、北東アジアの環境に関するハイレベルな協力メカニズムとして、1999年に第1回TEMを開催いたしました。

TEMを中心とする三国の環境協力は、三国政府のほか研究機関や市民団体も参画する多層の協力活動で構成されています。「環境協力に係る三カ国共同行動計画」は、数多くの分野にまたがる三国共通の環境問題を取り上げ、TEMのもとで多岐にわたる環境協力を戦略的かつ体系的に行っていくために採択されました。過去19年間に、地域の政治関係の動向に関わらず、三国は持ち回りで毎年TEMを開催してきました。現時点で存在する21の大臣級の三国協力メカニズムの中で、TEMは最も歴史が長く、そして最も制度化の進んだメカニズムとして発展してきました。地域の環境管理における指導的役割を果たし、地球規模での環境改善に貢献し、環境管理を促進するために、実りある成果が達成されてきました。

2018年はTEMが発足して20周年にあたります。これまでの輝かしい道のりを共に振り返り、より良い明日を描きましょう。

* 1999年のASEAN+3首脳会談の際、中国、日本、韓国の間で初めての首脳会議が開催されました。三国首脳は、環境協力と対話を強化するためのイニシアチブを提唱し、これにより三国の環境協力に向けての政治的基盤が築かれました。

* 2018年には、三首脳は日本・東京で開催された第7回日中韓サミットにおいてTEMの進展を歓迎し、共同での取り組みを支持、促進させる決意を再確認しました。



TEMMAの歩み

協力基盤の構築 (1999-2009)



1999
TEMMA1
韓国・ソウル



2000
TEMMA2
中国・北京



2001
TEMMA3
日本・東京



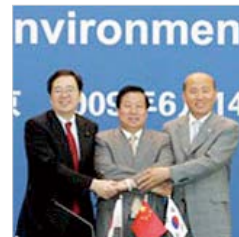
2002
TEMMA4
韓国・ソウル



2003
TEMMA5
中国・北京



2009
TEMMA11
中国・北京



2008
TEMMA10
韓国・済州島



2007
TEMMA9
日本・富山



2006
TEMMA8
中国・北京



2005
TEMMA7
韓国・ソウル



2004
TEMMA6
日本・東京



協力の強化 (2010-2014)

2010
TEMM12
日本・北海道



2011
TEMM13
韓国・釜山



2012
TEMM14
中国・北京



2013
TEMM15
日本・北九州



2014
TEMM16
韓国・大邱



2018
TEMM20
中国・蘇州

2016
TEMM18
日本・静岡

2017
TEMM19
韓国・水原

2015
TEMM17
中国・上海

協力の着実な発展 (2015-2019)





3つのレベルの会合から構成されるTEMにより、より効果的な調整を行い、パートナーシップを強めることができます。

毎年TEMに向けての局長級会合およびTEM前後の実務者会合を実施し、TEMの円滑な実施のための準備と、TEMにおいて合意された事項のフォローアップを行っています。

環境協力に係る日中韓三カ国共同行動計画

北東アジアの環境協力のうち最もハイレベルなメカニズムとして、TEMはそれぞれ第1回、第11回、第16回の会合にて優先的に協力していく分野を決定し、2段階での「環境協力に関する三カ国共同計画」を実施しました。共同計画に含まれた優先分野の多くで実りある成果が生まれています。

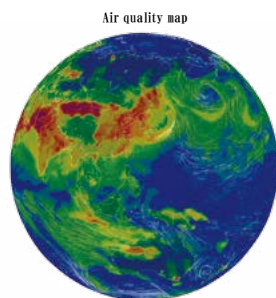


大気環境改善



大気環境改善

大気汚染の越境移動に対処するためには、幅広い協力が必要です。北東アジア地域の大気環境を改善するために、2014年、三国は「大気汚染に関する日中韓政策対話」を発足させました。大気汚染の予防と管理、テクノロジーに関する科学調査の協力を行い、大気モニタリングに関する政策を促進するために、二つの作業部会による定期的な共同セミナーが開催されています。



AirVisual Earth <https://www.airvisual.com/earth>



黄砂 (DSS)



黄砂 (DSS)

地域環境の問題として黄砂の問題に共同で取り組む三国の協力には以下のような活動があります。

- DSS局長会合
- 運営委員会会合
- 作業部会I(モニタリング、予報と早期警告)
- 作業部会II(予防と管理)
- 二つの作業部会の共同ワークショップ

会合では、DSSのモニタリングおよび評価技術に関する意見交換と協力を強化し、その結果、過去20年間で地域の黄砂の状況は改善してきました。



環境教育、 人々の意識向上、 企業の社会的責任

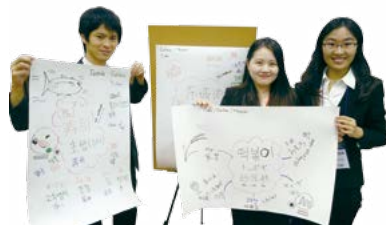


環境教育、人々の意識向上、企業の社会的責任

中国、日本、韓国は一つの環境共同体を形成しているとの共通の理解の下、三国は環境教育を促進するために、様々な分野と世代にわたる関係者の参画を促しています。

活動	参加者	目的
日中韓環境教育ネットワーク	環境教育の専門家、教員、NGO	環境教育のイニシアテチブを促進
TEMムユースフォーラム	学生、環境教育の専門家	環境協力を旨じたユースコミュニティの構築
合同環境研修	環境政策に携わる政府関係者	各国の環境政策および課題の議論
人々の意識向上	一般の人々	環境保護と協力に関する意識向上の促進

若者をまきこみ、
環境に関する理解を深める



生物多様性



生物多様性

三カ国は北東アジアにおける生物多様性の保全と持続可能な利用をととも重要視しています。生物多様性と遺伝資源の取得および利益配分 (ABS: Access and Benefit-Sharing) の分野における政策を強化し、意見交換するために、これまで4回にわたって「日中韓生物多様性政策対話」が実施されています。



化学物質管理



化学物質管理

三国間の貿易の増加に伴い、人々の健康と環境に対する有害な影響を予防するための適切な化学物質管理は必要不可欠です。三国は、化学物質管理政策の最新の進展について議論するために「日中韓化学物質管理政策対話」および「日中韓科学物質管理政策に関する公開セミナー」を開催しました。リスク評価や化学物質管理規制、環境モニタリングに関する情報交換により、各国の化学物質管理能力が大きく改善されました。また、魚類の慢性毒性試験に関する共同研究が実施されました。



資源循環利用/3R/電気電子機器廃棄物(E-Waste)の管理



資源循環利用/3R/電気電子機器廃棄物(E-Waste)の管理

三国は、持続可能な環境にやさしい社会の発展に向けた協力の強化に努力を惜しまず取り組んでいます。2006年以降、「3Rに関する日中韓三カ国セミナー」が11回にわたって開催されています。循環型経済政策、電気電子機器廃棄物(E-Waste)の越境移動、災害廃棄物管理と都市廃棄物リサイクルの連携で、注目に値する進歩がありました。





グリーン経済への移行



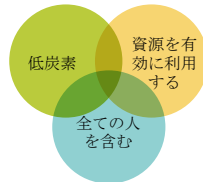
気候変動対応



グリーン経済への移行

経済モデルの見直し

私たちの経済や社会活動を持続可能なものとするために、三国は環境汚染の予防と産業界の協力に共同で取り組んでいます。



経済界による参画



「日中韓環境ビジネス円卓会議」においては、環境関連の事業に携わる企業の代表者が集まり、持続可能な都市、企業の社会的責任、大気環境の改善および土壌汚染の浄化技術に関して活発な議論を行いました。

技術協力 環境汚染防止・抑制技術のための三カ国協力ネットワークでは、共同研究や共同セミナーなどを通じた情報交換を行っています。



環境ラベルの相互認証 環境ラベルの相互認証に関して、三国はこれまでに9種類の共通基準に合意しています。環境ラベルは印刷物と繊維製品に適用されています。



気候変動対応



気候変動は現代において最も広く切迫した問題であり、21世紀に入って広範にわたる影響を及ぼしています。これは、世界の全ての国々の集団的なリーダーシップを必要とする地球規模の問題です。中国、日本、韓国は、「気候変動に関する国際連合枠組条約 (UNFCCC)」のもとで協力体制を維持しています。

気候変動により引き起こされる課題に対応するために、「気候変動に関する三カ国セミナー」が開催されました。気候変動の緩和と環境にやさしい低炭素都市の構築について、政策、活動、経験が共有されました。

水及び海洋環境の保全



水及び海洋環境の保全



マイクロプラスチックを含む海洋ごみは、海洋環境における国際的な問題です。三カ国は、「北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)」のもとで、海洋環境保護における協力を支持しています。「海洋ごみに関するTEM-NOWPAP合同ワークショップ」が国際海岸クリーンアップ活動と共に2015年から毎年開催されています。

これらの会議や活動を通して、各国は海洋ごみやマイクロプラスチックに関する情報や研究結果を共有するだけでなく、北西太平洋地域での海洋環境協力を強めています。

海洋ごみのもと



プラスチックの袋
やペットボトル



缶



漁業用の網



タバコの吸い殻

地方環境管理



地方環境管理

三国における地方環境のガバナンスと管理を改善するために、地方環境政策を共有するためのメカニズムが作られました。このメカニズムでは、政策に関する対話、技術協力、試験や実証プログラムに着手するための研究、人材交流、能力強化などの分野を扱っています。2016年以降、「地方環境管理に関する三カ国政策対話」が2度開催されました。





環境協力のこれから

過去20年間の日中韓サミット会合の枠組みにおいて、日中韓三カ国環境大臣会合(TEM)は最も歴史が長く実り多い協力メカニズムで、美しい北東アジアの形成に大きな貢献をしています。これまで、地域の環境改善の促進に向けて中心となる分野で効果的に協力事業を実施するため、健全な意思決定のメカニズムを構築してきました。これにより三国の環境保護の能力が強化され、世界にも有益で価値のある経験を共有しています。

世界の環境ガバナンスは新たな時代に入り、三国の環境協力は地球規模の環境協力において今後さらに中心的な役割を果たしていくことでしょう。持続可能な開発のための2030アジェンダ、国際気候変動枠組み条約や生物多様性条約といったグローバルな枠組みのもと、日中韓三国はグローバル課題の達成に向けてより緊密に連携していきます。

三国は相互尊重、平等、相互利益、開放性と透明性の原則のもとに協力をを行い、日中韓サミットのイニシアチブを実行していきます。また「環境協力に係る日中韓三カ国共同行動計画(2015-2019)」の様々な分野における協力を深め、分野横断的な協力連携を拡大すると共に、世界や地域の環境問題に関する意見交換を強化していきます。

これから20年の三国の環境協力はさらに進化していくでしょう。より持続可能な北東アジア、そして共通の関心を持ち責任と未来を分かち合う共同体をともに作っていく私たちの取り組みに、ぜひ皆さんも加わっていただきたいと思います。

付録



第1回～20回のTEMM一覧

1	1999年 1月13日	韓国・ソウル	 崔在旭(チェ・ジェウク) 韓国環境部長官  解振華(シエ・ゼンホア) 国家環境保護総局長  真鍋賢二 環境庁長官
2	2000年 2月26 ～27日	中国・北京	 解振華(シエ・ゼンホア) 国家環境保護総局長  清水嘉与子 環境庁長官  金明子(キム・ミョンジャ) 環境部長官
3	2001年 4月7～ 8日	日本・東京	 川口順子 環境大臣  金明子(キム・ミョンジャ) 環境部長官  解振華(シエ・ゼンホア) 国家環境保護総局長
4	2002年 4月20 ～21日	韓国・ソウル	 金明子(キム・ミョンジャ) 環境部長官  解振華(シエ・ゼンホア) 国家環境保護総局長  大木浩 環境大臣
5	2003年 12月13 ～14日	中国・北京	 解振華(シエ・ゼンホア) 国家環境保護総局長  小池百合子 環境大臣  韓明淑(ハン・ミョンスク) 環境部長官
6	2004年 12月4 ～5日	日本・東京	 小池百合子 環境大臣  郭決鎬(クァク・ギョルホ) 環境部長官  解振華(シエ・ゼンホア) 国家環境保護総局長
7	2005年 10月22 ～23日	韓国・ソウル	 李在庸(イ・ジェヨン) 環境部長官  解振華(シエ・ゼンホア) 国家環境保護総局長  小池百合子 環境大臣
8	2006年 12月2 ～3日	中国・北京	 周生賢(ジョウ・シオンシエン) 国家環境保護総局長  若林正俊 環境大臣  李致範(イ・チボム) 環境部長官
9	2007年 12月4 ～6日	日本・富山	 鴨下一郎 環境大臣  李圭用(イ・ギュヨン) 環境部長官  李干杰(リ・ガンジェ) 国家環境保護総局副局長
10	2008年 12月1 ～3日	韓国・済州島	 李萬儀(イ・マニ) 環境部長官  周生賢(ジョウ・シオンシエン) 環境保護部長  斉藤鉄夫 環境大臣

11	2009年 6月13 ～14日	中国・北京	 周生賢(ジョウ・シオンシエン) 環境保護部長  斉藤鉄夫 環境大臣  李萬儀(イ・マニ) 環境部長官
12	2010年 5月22 ～23日	日本・北海道	 小沢鋭仁 環境大臣  李萬儀(イ・マニ) 環境部長官  周生賢(ジョウ・シオンシエン) 環境保護部長
13	2011年 4月28 ～29日	韓国・釜山	 李萬儀(イ・マニ) 環境部長官  周生賢(ジョウ・シオンシエン) 環境保護部長  近藤昭一 環境副大臣
14	2012年 5月3～ 4日	中国・北京	 周生賢(ジョウ・シオンシエン) 環境保護部長  細野豪志 環境大臣  劉榮淑(ユ・ヨンスク) 環境部長官
15	2013年 5月5～ 6日	日本・北九州	 石原伸晃 環境大臣  尹成奎(ユン・ソンギョ) 環境大臣  李幹傑(リ・カンケツ) 環境保護副大臣
16	2014年 4月28 ～29日	韓国・大邱	 尹成奎(ユン・ソンギョ) 環境大臣  李幹傑(リ・カンケツ) 環境保護副大臣  石原伸晃 環境大臣
17	2015年 4月29 ～30日	中国・上海	 陳吉寧(チン・キツネイ) 環境保護部長  望月義夫 環境大臣  尹成奎(ユン・ソンギョ) 環境大臣
18	2016年 4月26 ～27日	日本・静岡	 丸川珠代 環境大臣  尹成奎(ユン・ソンギョ) 環境大臣  陳吉寧(チン・キツネイ) 環境保護部長
19	2017年 8月24 ～25日	韓国・水原	 金恩京(キム・ウンギョン) 環境部長官  李幹傑(リ・カンケツ) 環境保護部長  中川雅治 環境大臣
20	2018年 6月23 ～24日	中国・蘇州	 李幹傑(リ・カンケツ) 環境保護部長  中川雅治 環境大臣  金恩京(キム・ウンギョン) 環境部長官

「環境協力に係る日中韓三カ国共同行動計画（2010-2014）」の10の優先分野

- 環境教育、環境意識及び公衆の参加
- 気候変動
- 生物多様性保全
- 黄砂
- 汚染管理
- 環境にやさしい社会/3R/循環型社会
- 電気電子機器廃棄物(E-Waste)の越境移動
- 化学物質の適正な管理
- 北東アジアの環境ガバナンス
- 環境産業及び環境技術

「環境協力に係る日中韓三カ国共同行動計画（2015-2019）」の9の優先分野


- 大気環境改善
- 生物多様性
- 化学物質管理と環境に係る緊急時対応
- 資源循環利用/3R/電気電子機器廃棄物(E-waste)の越境移動
- 気候変動対応
- 水及び海洋環境の保全
- 環境教育、人々の意識向上及び企業の社会的責任
- 地方環境管理
- グリーン経済への移行

日中韓三国協力事務局(TCS)は、日本、中華人民共和国(中国)、大韓民国(韓国)の平和と共栄の促進を目的として設立された国際機関です。各国政府による合意と批准をうけて、2011年9月に韓国において正式に発足しました。TCSは、幅広い分野における三国協力のハブとしての任務を担うことを目指しています。三国間の連携強化に向けて、TCSは未来志向かつダイナミックな三カ国協力を発展させるべく努めていきます。

住所 ソウル市鍾路区新門安路82 Sタワー20階 03185
電話 +82-2-733-4700
FAX +82-2-733-2525
ウェブサイト www.tcs-asia.org
Email tcs@tcs-asia.org

 Trilateral Cooperation Secretariat

 tcs tweet

 中日韓三国合作秘书处

中国政府の承認と生態環境部の支援を受けて2010年に設立された中国・ASEAN環境協力センター(CAEC)は、2014年には中国-上海協力組織環境保護センター、2017年からは瀾滄江・メコン川環境協力センターとしても知られるようになりました。CAECは生態環境部に属するシンクタンクとして、中国の指導者が主な地域サミットで提唱したイニシアティブを具体化し、積極的に環境における南南協力を促進して地域規模での持続可能な開発を後押ししています。

住所 北京市西城区後英房胡同5合 100035
電話 +86-10-8226-8232
FAX +86-10-8220-0574
ウェブサイト www.ChinaAseanEnv.org

 TEMM www.temm.org

 中国 MEE <http://english.mep.gov.cn/>

 日本 MOE Japan <http://www.env.go.jp/en/index.html>

 韓国 MOE ROK <http://eng.me.go.kr/eng/web/main.do>

冊子デザイン Sangsang Creative(+82-2-6337-0231)





The Tripartite Environment Ministers Meeting
Among China, Japan, and Korea



Trilateral Cooperation Secretariat



中国-东盟环境保护合作中心
China-ASEAN Environmental Cooperation Center